

総務常任委員会

3月12、13日の2日間、付託された陳情審査1件と、所管の事務調査を行った。

(総務課)

消防団の減少

町の自主防災組織の取り組みに、女性の参加も呼びかけている。将来的には、消防団本部団に女性の登用を考えている。

土地開発基金の取崩

高田工業団地の完売にともない、土地開発基金1億7、720万円を取崩し、所子地内に新たに工業団地を造成する。

(地籍調査課)

地籍調査の進捗

地籍調査は、中山地区、大山地区で実施中である。名和地区は、昭和40年代にすでに完了している。進捗率は、大山地区が23%、中山地区が32%で、現状の体制であれば、完

な対策は、風車の設置業者やコンサルなどとともに検討をしている最中である。

ケーブルテレビの運営経費は

了までには今後さらに20年から30年くらいかかる見通し。

(企画情報課)

風力発電の落雷対策

毎年発生する落雷被害を防止するための抜本的

放送事業者である中海テレビには、自主番組の制作等を委託している。そのほかにソルコムなど他の業者にも施設の保守管理等を委託しており、維持管理経費は増大しつつ



交通指導員会さんとの意見交換会をしました

つある。今後は、委託料の軽減に努めたい。

交通指導員との意見交換会

20年2月7日(木)

意見

(1) 3月29日に山陰道が、名和まで伸びると、御来屋駅前周辺の混雑が予測される。通学、通勤、歩行者の利用が多いので、信号機の設置が必要。

- (2) 農道が国道、県道、町道と交差する地点では、標識、停止線の安全措置がとられていない。誰がどうすれば標識設置、停止線を引くことができるのか。
- (3) 一時停止線が、交差点より大分手前に有るため、左右の車輛確認ができない場所が有る。引き直すことはできないか。
- (4) 交通安全期間中、議員も街頭指導に協力を。
- (5) 米子署から、八橋署へ
- (6) 交通安全指導員の数は不足している。増やしてほしい。
- (7) 国道、県道へのぼり旗が立てられなくなり、街頭での啓発活動が縮小せざるをえなくなった。

鳥取県町村議会

議長会から表彰

町村議会議長会表彰

◆議員として

13年以上在職
二宮 淳一



◆事務局職員として

7年以上在職
小谷 正寿

町村議会広報コンクール ◆優秀賞 大山町議会

平成20年2月15日、町村議会議員として永年在職し、功労のあった議員1人と事務局職員1人が鳥取県町村議長会から表彰されました。

またあわせて鳥取県町村議会広報コンクールの



表彰式が行われ、わが町の議会だより「だいでん」が2年連続で優秀賞を受賞いたしました。